

令和5年度 福祉従事者研修【課題別】

オンライン開催

説明力向上研修

～部下・後輩のやる気の引き出し方～

目的

福祉の現場において、円滑なコミュニケーションを図るための重要な要素の一つとして「説明力」が挙げられます。様々な場面や状況に合わせて各職員及び現場に適切に伝わることで、サービスの質の低下や重大なリスクを未然に防ぐことができ、職場全体の活性化にもつながります。本研修では、部下や後輩のやる気を引き出し、「伝えたいことを適切に、相手に分かりやすく説明するスキル」を習得します。

効果

コミュニケーションを基本から学び、その多様性を知ることで、より相手に合わせたコミュニケーションがとれるようになります。
自分を知り相手を知ること、部下や後輩に対して肯定的な関わり方ができるようになり、よりモチベーションが上がる声かけができるようになります。

日時

令和5年 5月29日(月) 10時00分～16時00分

会場

「Zoom」を使ったオンライン開催

受講対象 ・定員

主任・係長等の役職を担うチーム・部署のリーダー的職員、今後主任や係長等の部署・チームのリーダー的役割を担うことが想定される中堅職員
60名程度(オンライン受講者のみ)

受講料

佐賀県社協会員:5,000円 (非会員:8,000円)税込

申込締切

令和5年 5月9日(火) 午後12時00分

※定員に達した場合は早期に申込みを締切場合があります。

※研修実施可能人数を満たさない場合は開催を見送る場合があります。

※受講希望する方は、申し込み時に必ずメールアドレスの記載をお願いします。

プログラム

時間	研修内容
9:30～	受付
9:55～10:00	オリエンテーション
10:00～12:00	講義・グループ討議 ・「伝える」ことの意味 仕事における情報伝達の重要性 「伝える」メリット ・「伝わらない」はどうして起こるのか 「伝えつつも」と「わかつたつもり」
12:00～13:00 (昼食・休憩)	世代の違いによる考え方の違い
13:00～16:00	・部下や後輩に「聞いてみよう」と思わせる関係性づくり 多様性を知る 勇気づけのコミュニケーション ・伝え方のポイント～アサーティブな伝え方～ 伝える時に意識すること

※研修にはグループ討議・演習等があり、より効果的に学ぶことができます。

※オンライン受講の際、グループワークの実施が難しい場合があります。

※研修内容は一部変更される場合があります。

講師

石橋 哲哉 (いしばし てつや) 氏

メンタルコーチ

大学卒業後、建設省九州地方建設局に入省。職場研修で「コーチング」に出会い、以後、様々な講座や独学でコーチングや心理学を中心とした学びを深める。退職し、フリーの講師として独立。プロアスリートなどを対象とした「メンタルコーチング」に軸足を置きつつも、その豊富な経験とエッセンスを活かした、企業・学校・医療福祉施設等での組織活動や管理職としての心構え、コミュニケーション等に関する熱心な指導には定評がある。



受講者の 声

『自分と相手では捉え方が違うので、しっかり伝わったのか確認するようにしたい。』(20代男性)
『説明力や伝えるためには、どういう意識や気持ちを念頭に置くとよいか参考になりました。』(30代女性)